

修了生就職先業種一覧

工学研究科で培われた専門分野での確かな能力や人間性が社会で評価を受け、さまざまな分野で活躍しています。

専攻分野	機械工学専攻	電気工学専攻	電子工学専攻	環境建設工学専攻
これまでの就職先実績	製造業 本田技研工業(株) スズキ(株) ヤマハ(株) オリエンタルモーター(株) (株)フジクラ TOTO(株) ミネベアミツミ(株) ニダック(株) 製造業(エレクトロニクス) アルプスアルパイン(株) 凸版印刷(株) キャノン(株) TDK(株) 電力・建設業 東日本旅客鉄道(株) 東北電力(株) (株)ユアテック	電力・建設・製造業(エレクトロニクス) (株)日立産業制御ソリューションズ 東北電力(株) (株)川瀬電気工業所 東日本旅客鉄道(株) 東北電機製造(株) 光電子(株) (株)アルプス技研 マクセルフロンティア(株) 三菱電機(株) 情報通信・サービス NECソリューションイノベータ(株) 凸版印刷(株) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 NECプラットフォームズ(株) 京セラコミュニケーションシステム(株) (株)パナソニックシステム みやぎ生活協同組合 (株)ドコモCS東北	製造業(エレクトロニクス) 日本テキサス・インスツルメンツ(株) 凸版印刷(株) アルプスアルパイン(株) (株)トーキン 進工業(株) (株)KOKUSAI ELECTRIC (株)ミラプロ 製造・建設業 東芝デベロップメントエンジニアリング(株) 日本原燃(株) キャノンアネルバ(株) TDK(株) (株)日立産機システム 古川エヌ・デー・ケー(株) 情報通信・サービス (株)OKIソフトウェア 国立研究開発法人産業技術総合研究所 (株)日立情報通信エンジニアリング インフィニティテクノロジー(株)	建設／設計 (株)エムテック (株)オオバ 鹿島建設(株) (株)共同技術コンサルタント (株)熊谷組 国土防災技術(株) 佐藤工業(株) (株)サンユウシビルエンジニアリング 清水建設(株) ショーボンド建設(株) (株)水機テクノス (株)関・空間設計 仙建工業(株) セントラルコンサルタント(株) (有)SOY source建築設計事務所 大成建設(株) 大日本コンサルタント(株) JR東日本ビルテック(株) NTTアーバンバリューサポート(株) (株)日本空港コンサルタンツ
主な就職先の業種	◎建設／設計 ◎電気／エネルギー ◎情報通信 ◎交通／運輸 ◎環境事業 ◎研究・教育機関 ◎官公庁	◎電気／エネルギー ◎製造業 ◎交通／運輸 ◎サービス・その他 ◎研究・教育機関 ◎官公庁	◎電気／エネルギー ◎建設／設計 ◎情報通信 ◎研究・教育機関 ◎進学 ◎サービス・その他 ◎官公庁	◎交通／運輸 ◎不動産 ◎官公庁 ◎進学 ◎サービス・その他
進路決定率	2023年度進路決定率 100%	2023年度進路決定率 100%	2023年度進路決定率 100%	2023年度進路決定率 100%

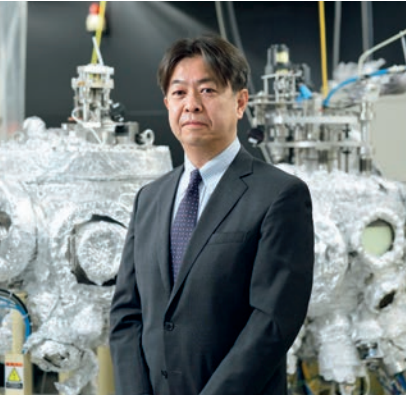
工学研究科長メッセージ

さあ、自分の未来を切り拓くために大学院に進学しよう！

大学入学後の4年間は社会生活を豊かにする学び、すなわち基礎的な教育に重点を置くことが求められ、工学系の醍醐味である『研究・開発』を行うために多くの時間を割くことは困難です。しかしながら、大学院では『研究・開発』が中心であり、集中して打ち込むことが可能になります。大学院進学後、研究を発展させるためには、その研究テーマに関連した多くのことを学び、習得しなければなりません。高度な専門知識を吸収しながら自発的創造が求められるのです。大学院では、学外での学会・研究会発表を義務づけています。これまで、国内学会発表だけでなく、国外で開催される国際会議で発表した大学院生も多数おり、また研究奨励賞・優秀プレゼンターなどを受賞した大学院生も数多くいます。学外で研究発表を行うということは、他大学の大学院生、教員や企業の研究者の発表も聴講でき、その研究内容の

理解・習得だけでなく、プレゼンテーションの勉強にもなります。さらに企業の研究者のみならず、国際会議では世界中の研究者との交流もできます。このような経験は、自分の未熟さに気付くだけでなく、今後自分はどうすればよいのかという指針・方針を構築することに繋がります。指導教授の研究指導の下、論文作成能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、将来研究開発する上において必要な能力が身につきます。また、多くの企業において研究・開発に携わっているのは、大学卒ではなく大学院卒の人です。大学院はこれまでよりさらにワンステップ上がって自分を磨き、楽しみ、研究に大切なことが経験できる場です。是非進学し、高度な教育を体系的に学び、研究を発展させて下さい。そして、一連の研究プロセスをしっかりと経験・理解した技術者として修了し、同期の

仲間から大きく抜きん出るような成長を遂げることを願っております。大学院への進学は人生の中で自分の実力を養成、発揮できる数少ないチャンスです。自分の人生をデザインし、切り拓くためには、大学院への進学が必要不可欠です。



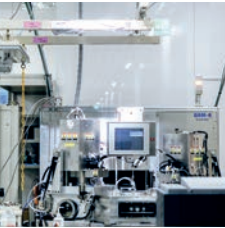
工学研究科長 嶋 敏之

学費・各種支援制度

奨学金をはじめとする経済支援や社会人の受け入れ、早期修了制度など、万全なサポート体制を整備。大学院生をさまざまな面でバックアップする支援制度で、研究に打ち込める環境づくりに取り組んでいます。

■学費（単位：円／2023年度入学生）

		本学卒業の入学者	本学以外からの入学者
学生納付金	入学金	—	270,000
	授業料	640,000	640,000
	施設設備資金	260,000	260,000
	実習料	95,000	95,000
	教育充実費	20,000	20,000
	計	1,015,000	1,285,000
諸会費	学術振興会費	500	500
	後援会費	16,000	16,000
	同窓会入会金	—	3,000
	同窓会費	3,000	3,000
	計	19,500	22,500
合計		1,034,500	1,307,500
入学時納付金		527,000	800,000
後期(10月)納付金		507,500	507,500



大学院、内部進学・外部進学を比較するなら
トータル費用と生活環境に注目を！

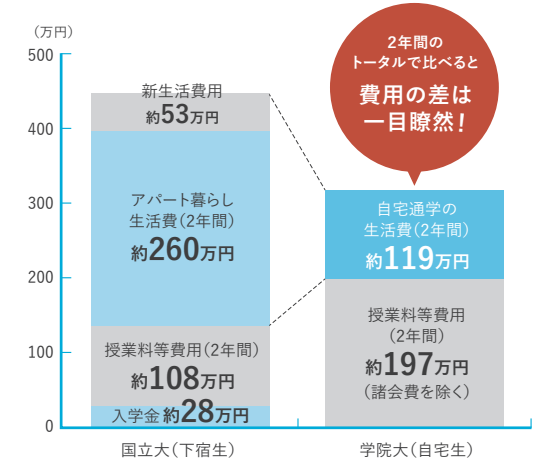
在学期間のトータル費用に大きな差

内部進学か外部進学かの選択で、まず判断材料になるのは費用の差です。比較のポイントは、入学準備費や生活費も含め、在学期間のトータルで考えること。本学の自宅生が内部進学した場合と、他県国立大学の大学院へ進学した場合で比較すると、内部進学は入学金が不要で転居や1人暮らしの費用がかからず、2年間で大きな差が表れます。

仙台を研究生生活拠点にするメリット

都心部に新設した本学のアーバンキャンパスは、仙台の都市機能をフル活用できる環境です。情報集積や人材交流など研究拠点としての機能性だけでなく、生活環境としての効率性も優れています。アルバイトや買い物など日常に関わる施設が近辺に充実し、学会参加など全国へのアクセスもしやすく、結果的に無駄を省いて出費を抑えられます。

「自宅生(本学工学研究科進学)」と「下宿生(他県国立大大学院進学)」の比較例



※2023年度 全国大学生生活協同組合連合会調べ／
2022年度 独立行政法人日本学生支援機構調べ

費用詳細（単位：円）

	他県国立大	本学
入学金	282,000	0
1年目授業料	535,800	640,000
1年目施設設備使用料	0	260,000
1年目実習料	0	95,000
1年目教育充実費	0	20,000
2年目合計	535,800	1,015,000
新生活費用	525,300	0
2年間生活費 (アパート)	2,598,400	1,186,200 (自宅)
2年間総費用合計	4,477,300	3,216,200

※各年の諸会費については大学により差があり、私立大よりも国立大の方が高いケースもあります。本学の諸会費(1年間)は19,800円となります。

学費・各種支援制度

■ 各種奨学金制度

奨学金制度は、経済的事由によって就学が困難な学生に対して学資を貸与または給付し、修学上の経済的障害を取り除いて学業に専念できるよう援助することを目的としています。

1. 日本学生支援機構貸与奨学金

家庭の経済状況・学力・人物・健康等について審査・選考が行われ、学長の推薦をもとに決定されます。大学院入学前に申請する予約採用と入学後に申請する定期採用があります。

種別	貸与金額
第1種奨学金 (無利子)	博士前期課程 月額50,000円または88,000円のいずれかを選択
	博士後期課程 月額80,000円または122,000円のいずれかを選択
第2種奨学金* (有利子)	博士前期課程 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・ 博士後期課程 150,000円の中から希望月額を選択

*在学中は無利子で卒業後年3%を上限とする利子付き

2. 東北学院大学給付奨学金

学業成績・人物ともに優良であり、経済的困窮度が高く、修学困難な学生が対象です。採用者には半期150,000円を給付します。次学期も給付希望する場合は、新たに申請が必要です。

3. 東北学院大学緊急給付奨学金

在学中に家計支持者の死亡(自然災害事由の死亡を除く)、疾病、失業(定年退職を除く)等により家計状況が急変し、修学困難な学生が対象です。家計急変の事由発生から、1年以内である場合に申請可能です。採用者には当該学期授業料相当額を給付します。

4. 東北学院大学自然災害被災学生緊急給付奨学金

自然災害が発生した日の属する年度内に申請可能です。被災証明書等に基づく被災状況に応じた額が給付されます。

5. 地方公共団体奨学金・民間育英団体奨学金

本学で募集推薦するものと各団体に直接申し込むものがあります。詳細は、奨学金掲示板または大学ホームページを参照し、学生課厚生係に直接お問い合わせください。

■ 入学金免除制度

入学金27万円免除。

本学学部を卒業した学生は、工学研究科博士前期課程の入学金27万円が全額免除になります。また工学研究科博士前期課程修了者は、博士後期課程の入学金が全額免除になります。

■ 海外研修

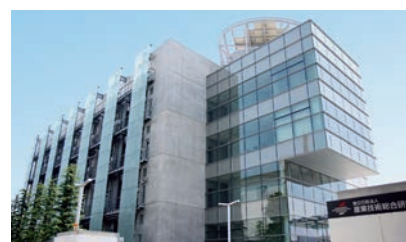
研究成果発表のための国際会議や国際学会への参加は大学院生ならではの経験です。多くの院生が毎年、アジアやヨーロッパ、アメリカ等の国々で最先端の研究発表を行っています。また、大学より旅費の一部が補助されます。



連携大学院 (国研)産業技術総合研究所 東北センター

連携大学院制度のもと、産総研に大学院生を派遣。

工学研究科では、国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)東北センターとの間で連携大学院の協定を締結しています。連携大学院とは、大学と産総研が連携して研究協力を進め、若い研究者を育成する制度。具体的には、産総研の研究所員が本学大学院の客員教授となり、研究所を利用して研究を進める大学院生を学位取得まで指導します。



■ TA制度

教育経験と奨学を目的に多くの大学院生が活用。

“将来教員・研究者になるためのトレーニング機会の提供(教育経験)”と“経済的支援(奨学)”を目的とする「ティーチングアシスタント(TA制度)」を設けています。TAとして実験や実習などの補助を行い、そのコマ数に応じて給与が支払われます。1人週3コマ(6時間)を上限としています。

■ 早期修了制度

5年(学部+大学院)で修了、学費も節約に。

本学大学院に進学することを前提として3年半で大学を卒業できる制度があります。4年次の9月に学部を卒業し、大学院に進学。大学院は1年半で終わることも可能です。大学入学から大学院修了を1年短縮できるので、期間も授業料も1年分節約できる魅力的な制度です。詳しくはお問い合わせください。

■ 社会人特別選考

社会人の方の学ぶ意欲を応援。

東北学院大学では、特別選考による社会人の受け入れを積極的に行っています。一般選考の出願資格のいずれかに該当し、3年以上の社会人経験がある(主婦・主夫を含む)、または企業や官公庁などに正規の職員として勤務し、在職のまま入学できる方いずれかが対象です。詳しくは募集要項をご確認ください。

■ 長期履修制度

標準の修業年限を超えた期間で計画的な履修ができる。

職業を有する方や、大学卒業後3年以上経過している方(定年退職者を含む)、または育児や介護などで研究時間の制約を受ける方などを対象に、入学時の就業環境に応じて在学年限の範囲内(博士課程前期課程4年、博士課程後期課程6年)で、指導教員と相談のうえ、1年単位で長期履修期間を定めることができる制度です。在籍期間が長期化しても授業料の総額はそれぞれ必要とされる在籍期間(博士課程前期課程2年、博士課程後期課程3年)の授業料となり、履修期間に応じて授業料を分割払いするメリットがあります。